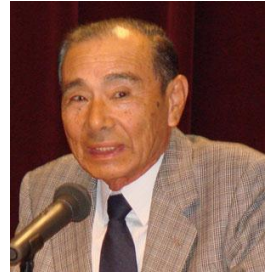


## 会長就任の御挨拶

桑高同窓会長  
西羽 晃  
(全日制七回生)



昨年12月の幹事総会にて桑高同窓会の第5代目会長に選任されました、1955（昭和30）年卒業の西羽（にしは）晃です。歴代の会長は山本重治郎さん、諸戸精文さん、水谷清作さん、小林昭三さんで、いずれも旧制桑名中学校を卒業された方であり、桑名経済界を代表し、桑名商工会議所の重鎮であらせられた方ばかりです。

それに引替え、私は全く非力な凡人です。凶らずも今回会長という重責に選ばれたことは、誠に身に余る光栄であります。その任を十分に果せるか、危惧しております。何卒ご叱咤、ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

50年以上前の桑高での3年間に私は信頼できる恩師に恵まれ、良き友人たちから刺激を受けました。思い出すと限りはありませんが、この3年間での青春生活が、その後の人生の礎になって、今日に至っていると思っています。

現在、私は桑高のすぐ近くに住んでおり、母校の様子を毎日のように眺めています。また昨年3月までは学校評議員を、本年度は学校評価委員をさせて頂き、桑高の様子に強く関心を抱いています。

創立百周年には記念誌『桑高百年』の編集を担当して百年の歩みをつぶさに検証させて頂きました。その中で感じたことは、桑高は「派手さ」は少ないが、キラリと光る人材が沢山居られることでした。この伝統は今後も続けなければならないと考えますし、同窓会としても世界に羽ばたく人材を応援していきたいと思えます。

昨年は衛生看護分校が本校に統合され、また東北大震災によって、校内の防災計画の見直をせまられ、校内の配置を再検討されつつあります。それを踏まえて、百周年の事業の記念碑建立などは延期・再検討課題になっています。皆様から寄せられた記念事業資金も積み残っています。学校当局と協議を重ねて、資金を有効に活用したいと存じます。

最後になりましたが、新米会長に対して、同窓生の方々の厚いご支援を、お願い申し上げます。

(2012年2月29日)